MS343-28001/2
GRリヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はＧＲリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

●本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは必ず車両登録後に行なってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	備 考
MS343-28001-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	ヴォクシー	
MS343-28001-C0	アティチュードブラックマイカ(218)		
MS343-28001-A1	プラチナホワイトパールマイカ(089)		
MS343-28002-NP	未塗装品		

※最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

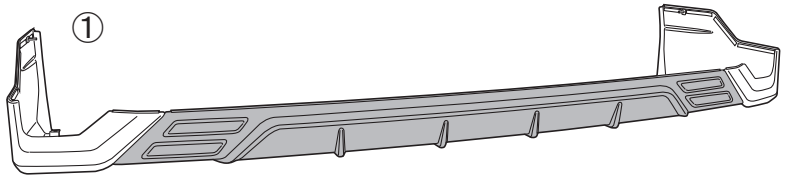
No.	品 名	個数	備 考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	クリップ	6	
③	クリップナット	2	
④	穴あけ位置決めステッカー	1	
⑤	PACプライマー	1	N210NT 相当

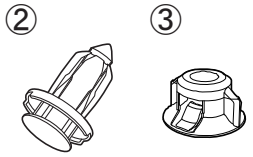
以下、MS343-28002-NP（未塗装品）のみに同梱

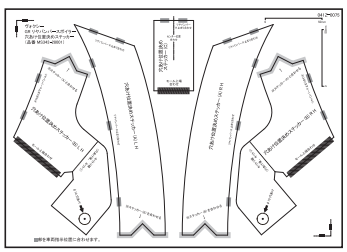
⑥	モール	各1	ブラック/ライトグレー L=3000㎜
⑦	モール（L型）	1	ブラック L=500㎜

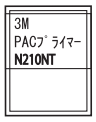
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

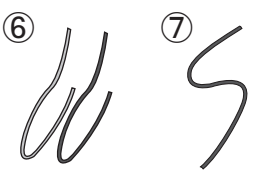
■ 構成部品図











MS343-28002-NP
（未塗装品）のみに同梱

⑥モール推奨使用色

色番号	色 名 称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
1K0	メタルストリームメタリック	ブラック
1L6	マッシブグレー	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	ブラック
226	グリッターブラックガラスフレーク	ブラック
3R3	レッドマイカメタリック	ブラック
4X1	スティールブロンドメタリック	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

●作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

❗本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

❗取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

❗脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗本商品は塗装前に下地処理が必要です。必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗本商品に塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗乾燥させる際は、製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。

❗本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 取付上のご注意(取付作業者の方へ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 目次、取付けに必用な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・3
4. 取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～9
5. 取付け完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
6. 未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～11

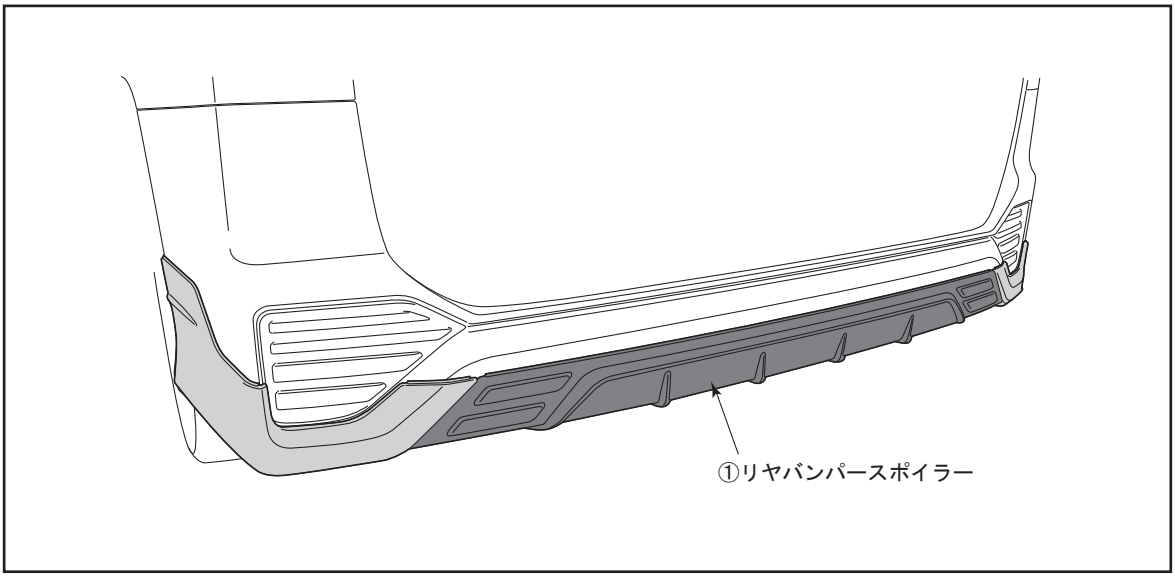
■ 取付けに必用な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具・ヤスリ・保護メガネ
・電気ドリル(刃：3㎜/6㎜/10㎜)
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
(1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト<https://www.trdparts.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

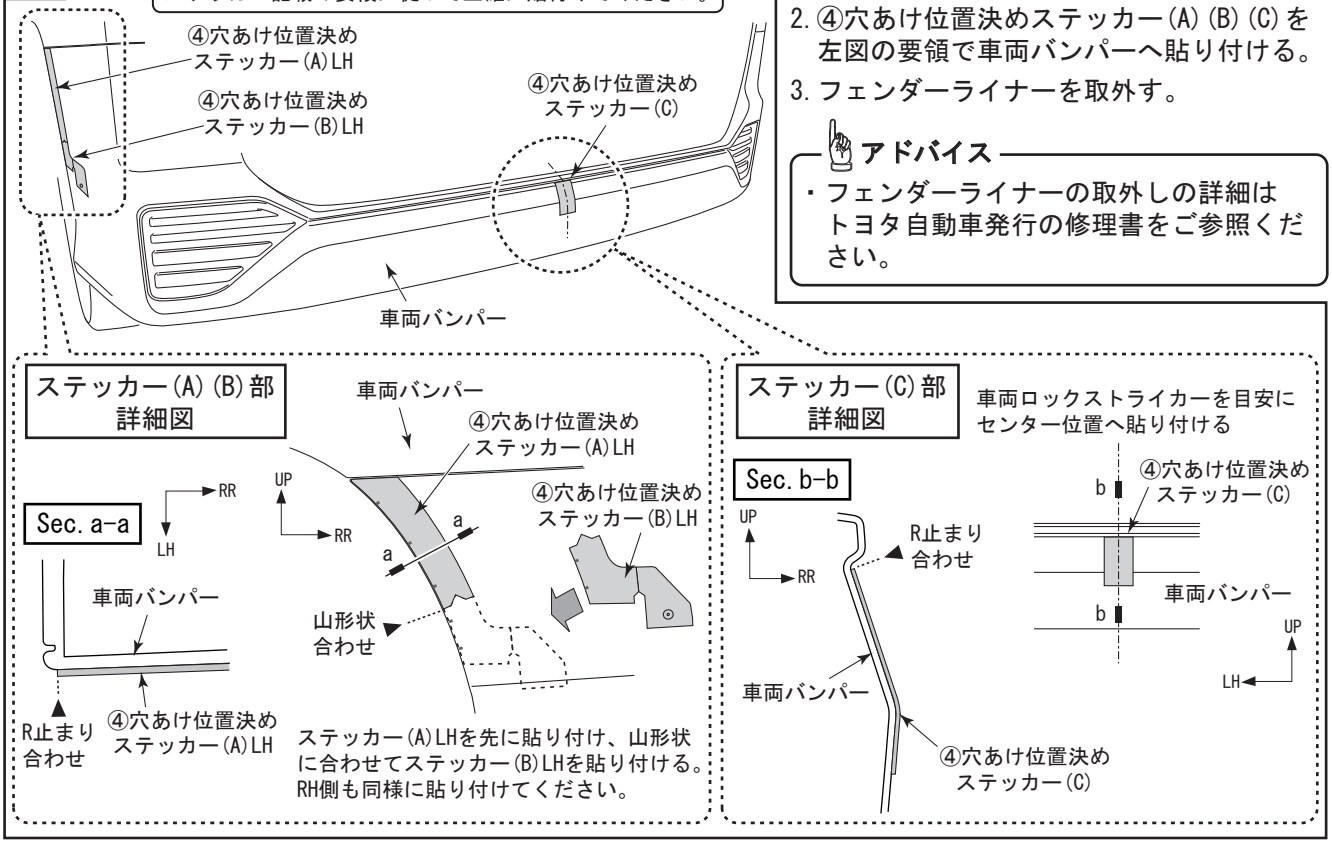


■ 取付準備、取付要領

□ リヤバンパースポイラー取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

図1

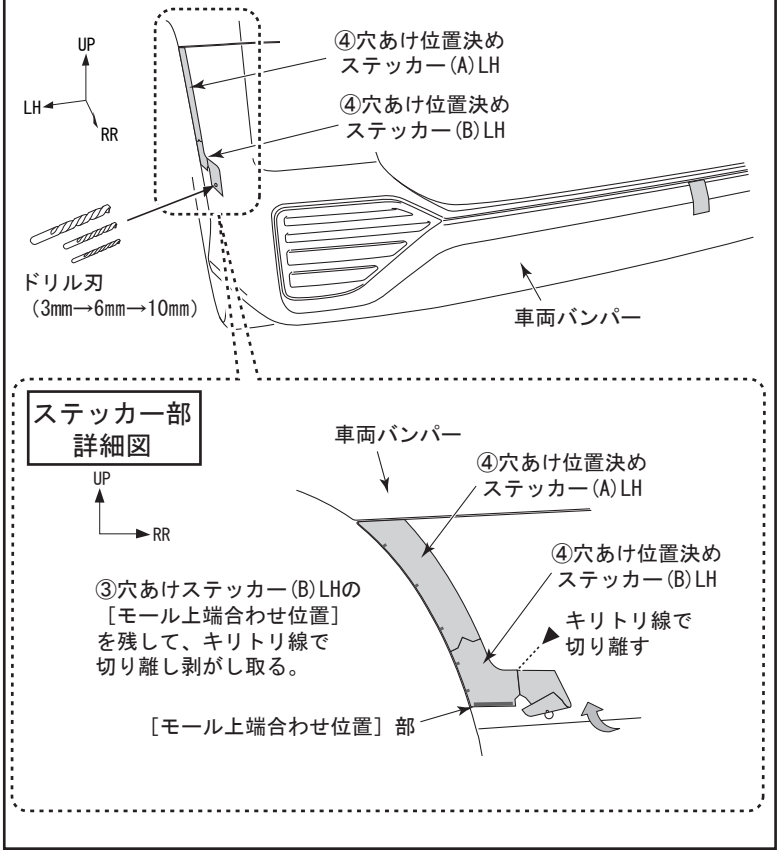


1. バックドアをあける。
2. ④穴あけ位置決めステッカー(A)(B)(C)を左図の要領で車両バンパーへ貼り付ける。
3. フェンダーライナーを取外す。

アドバイス

・フェンダーライナーの取外しの詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照ください。

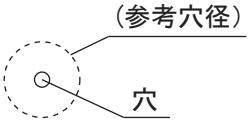
図2



1. ④穴あけ位置決めステッカーの穴中心を狙い、ドリルで下穴φ3mm、φ6mm、正規穴φ10mmの順に車両バンパーへ穴をあける。（左右各1カ所）

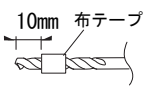
アドバイス

・型抜きされている穴中心を狙って穴あけをしてください。



・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

・突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところに布テープを巻き付けてください。

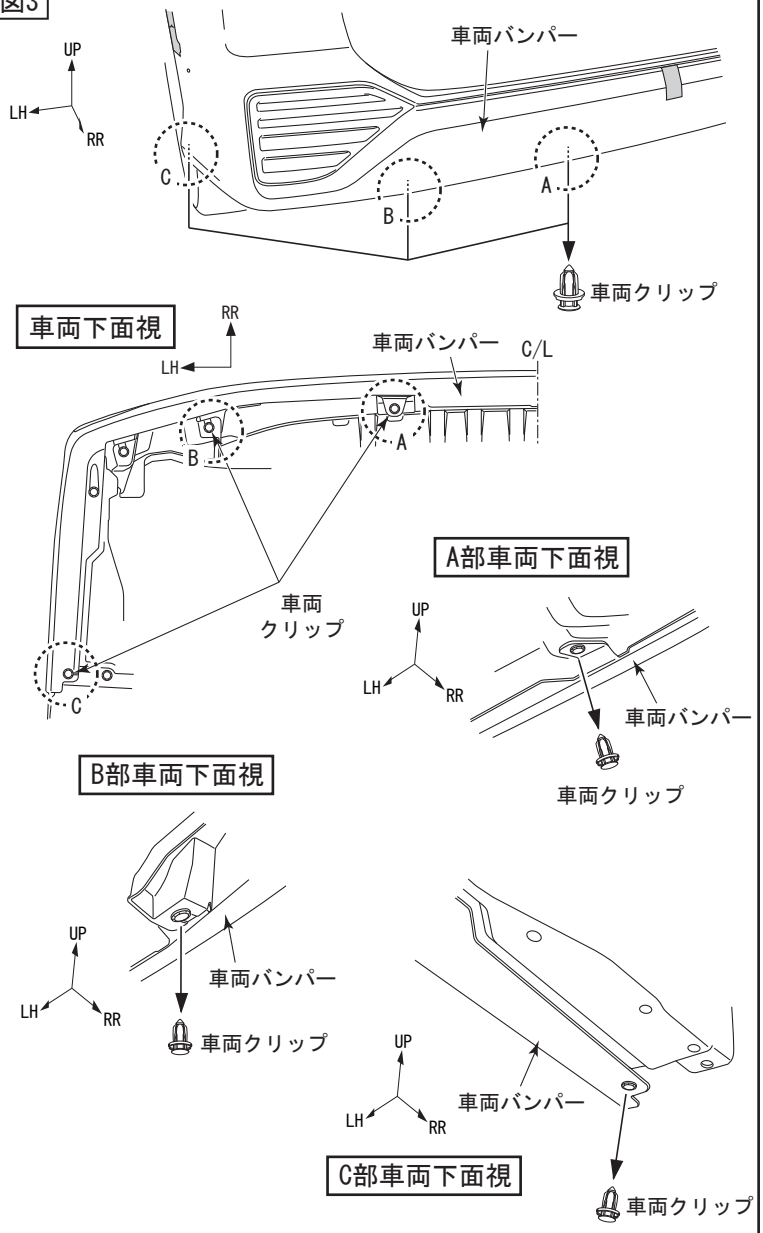


⚠ 注意

・作業時は保護メガネを着用してください。

2. ④穴あけ位置決めステッカー(B)LHの一部を図示の要領で切り離し、穴周りに出来たバリを取り、仕上げる。

図3

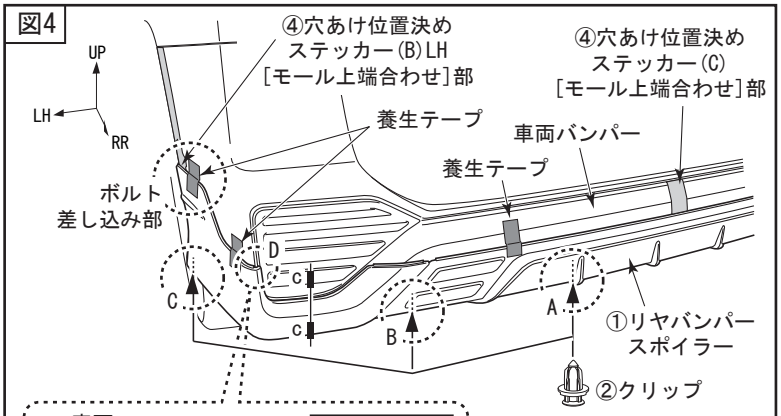


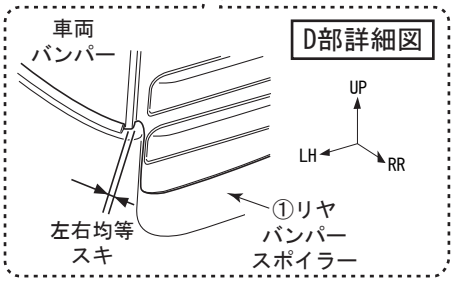
1. 車両バンパー下面の車両クリップを取外す。（左右各3カ所）

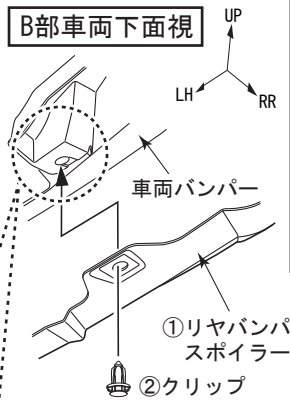
アドバイス

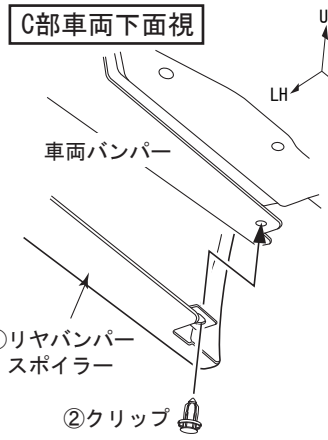
・取り外した車両クリップは再使用しません。

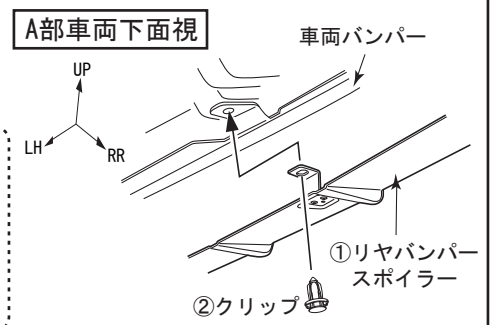
図4

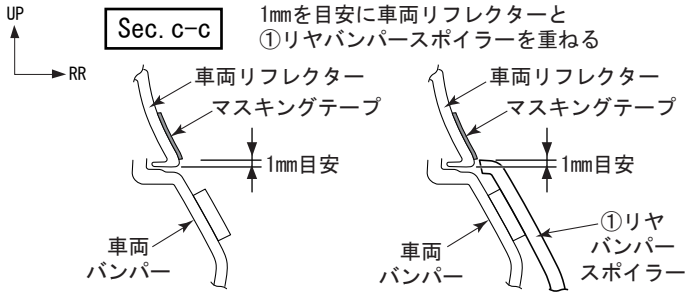


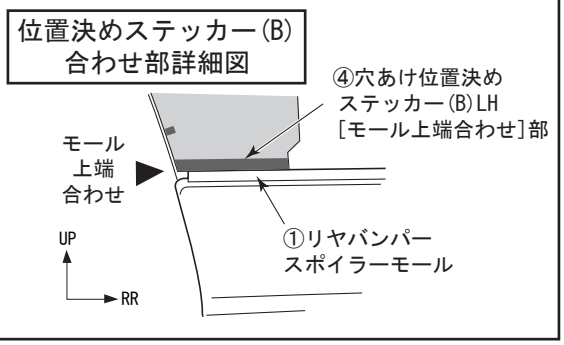












1. ①リヤバンパースポイラーのスタッドボルト部を車両バンパー側面の穴へ差し込み、下面部を②クリップで固定する。
（左右各3カ所）

アドバイス

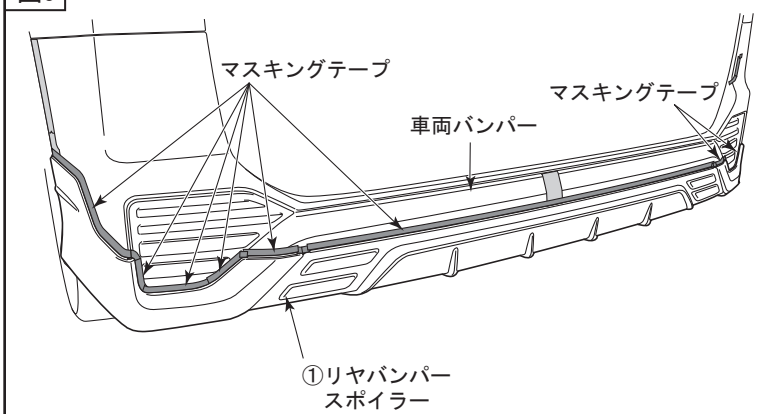
・B部を②クリップで固定する際、車両バンパーヒンジまで固定されていることを確認してください。

2. ④穴あけ位置決めステッカー(B)LH及び、ステッカー(C)の[モール上端合わせ]に①リヤバンパースポイラーのモール上端を合わせて養生テープで仮固定する。
その際、車両リフレクター部との高さ位置とD部のスキを左図の要領で合わせる。

アドバイス

・車両リフレクター部との高さ位置をあらかじめマスキングテープでマーキングしておくと位置が合わせ易くなります。

図5

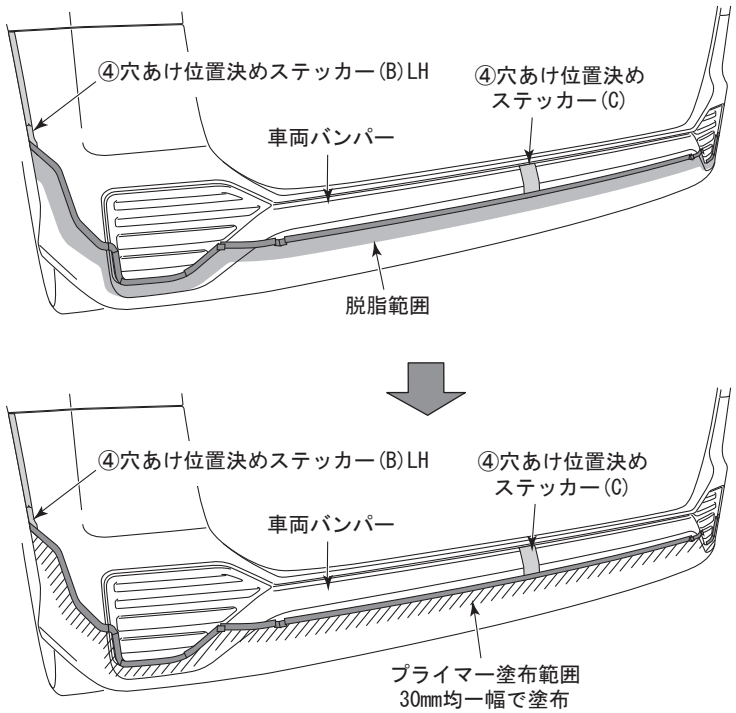


1. 左図の要領で①リヤバンパースポイラー端末(モール貼付け部はモール上端)に合わせてマスキングテープでマスキングする。

アドバイス

・PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行なってください。

図6



1. ①リヤバンパースポイラーを取外し、左図 ▭ 部を一方向に拭いて脱脂する。

アドバイス

・脱脂後は、十分に乾燥させてください。

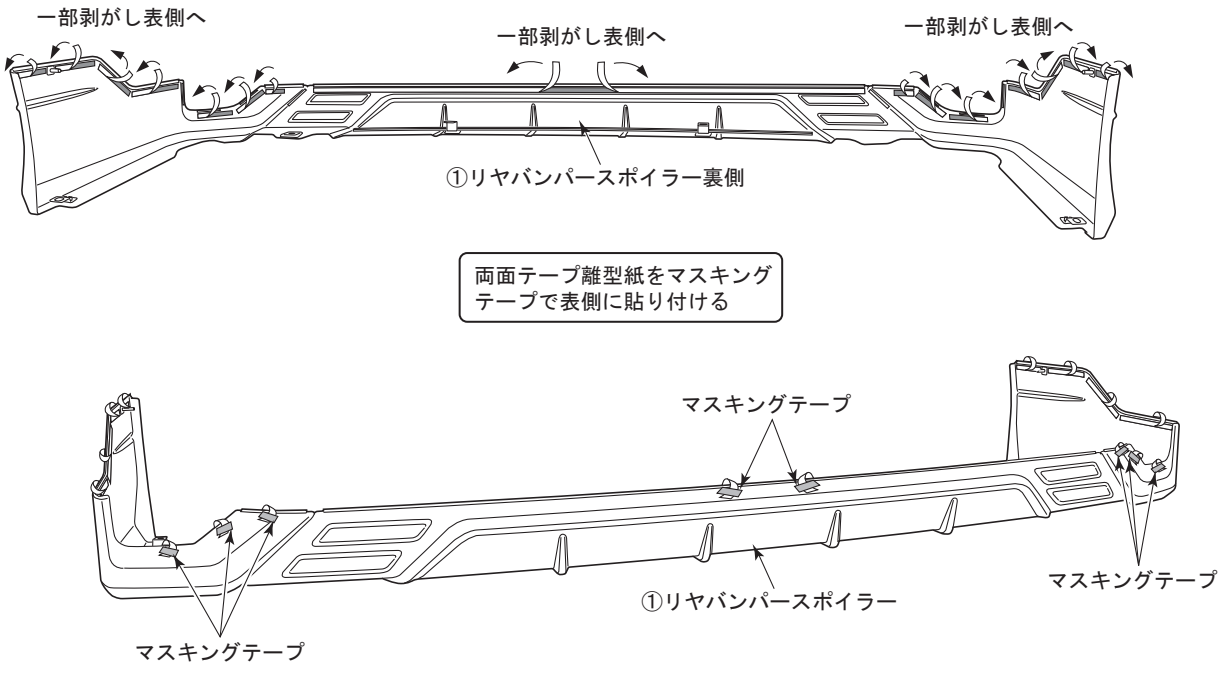
2. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑤PACプライマーを塗布する。
3. ⑤PACプライマー塗布後、マスキングテープを剥がしてください。
位置決めステッカーを剥がさない様注意してください。

アドバイス

・PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
・PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPA等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

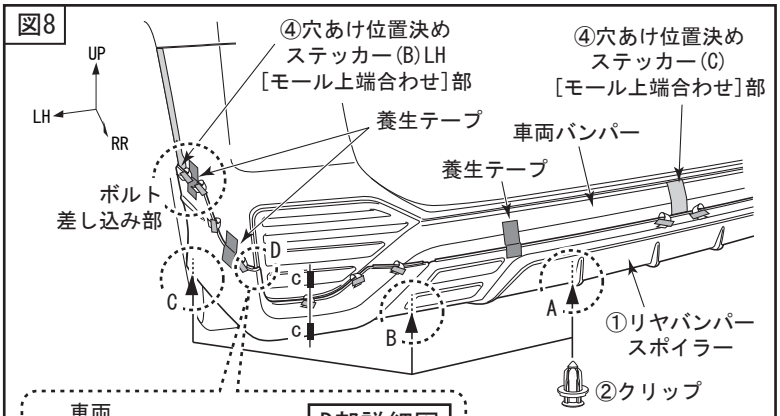
1. ①リヤバンパースポイラー裏側の両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。（全16カ所）

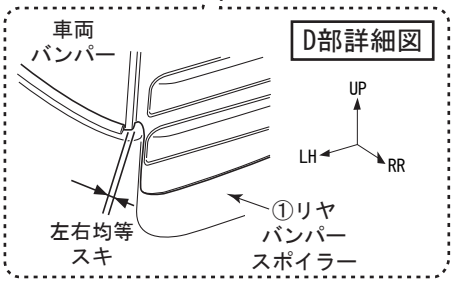
図7

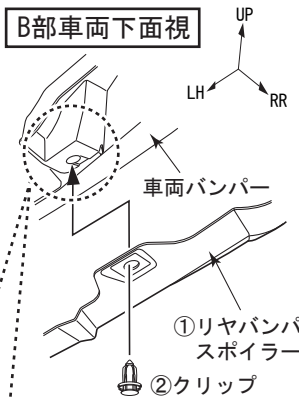


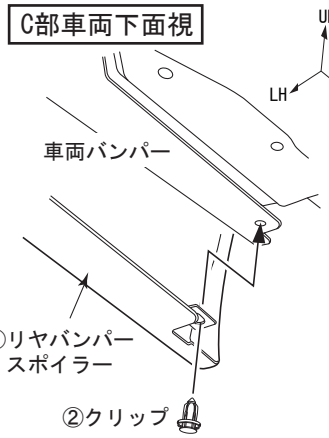
□ リヤバンパースポイラー取付要領

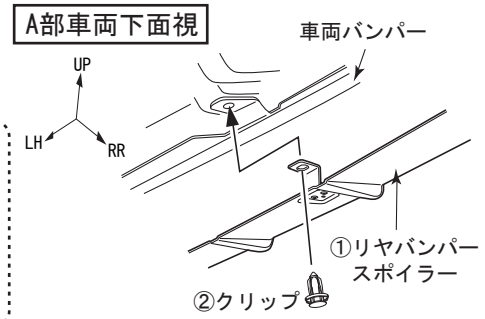
図8

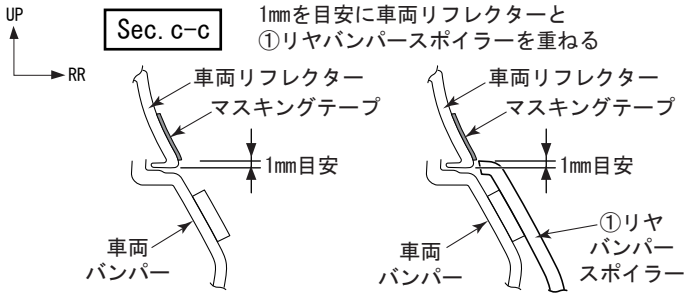


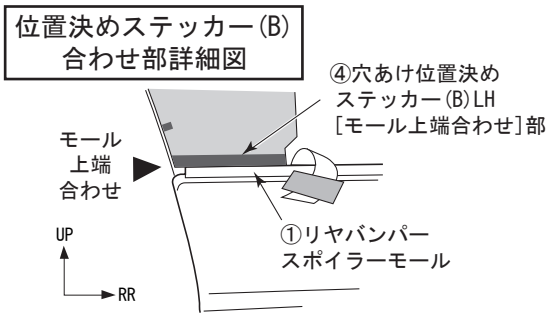












1. ①リヤバンパースポイラーのスタッドボルト部を車両バンパー側面の穴へ差し込み、下面部を②クリップで固定する。（左右各3カ所）

アドバイス

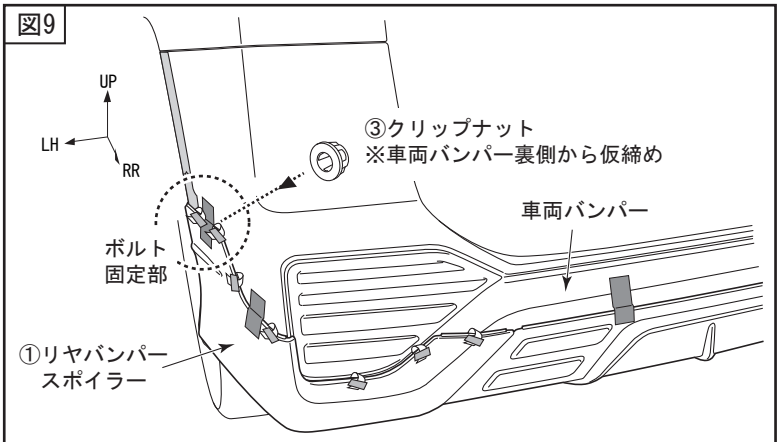
・B部を②クリップで固定する際、車両バンパーヒンジまで固定されていることを確認してください。

2. ④穴あけ位置決めステッカー(B)LH及び、ステッカー(C)の[モール上端合わせ]に①リヤバンパースポイラーのモール上端を合わせて養生テープで仮固定する。
その際、車両リフレクター部との高さ位置とD部のスキを左図の要領で合わせる。

アドバイス

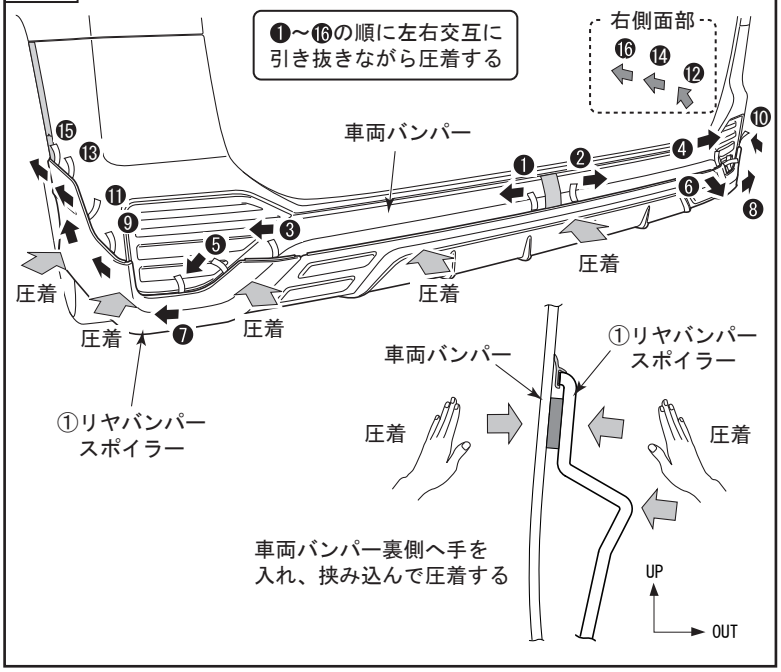
・車両リフレクター部との高さ位置をあらかじめマスキングテープでマーキングしておくと位置が合わせ易くなります。

図9



1. ①リヤバンパースポイラーのスタッドボルト部を車両バンパー裏側から③クリップナットで仮締めする。（左右各1カ所）

図10

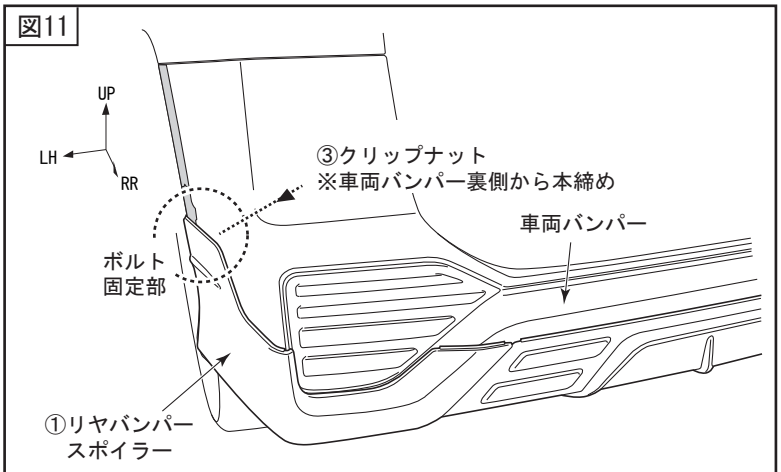


1. 両面テープ離型紙を図示の❶～⑯の順に徐々に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

- 離型紙が途中で切れない様に、①リヤバンパースポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。
- 車両バンパーの裏に手を入れる際は、けがをしないよう十分注意してください。
- 両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なってください。

図11



1. 車両バンパー裏側から、③クリップナットを本締めし、フェンダーライナーを復元する。

アドバイス

- フェンダーライナーの復元の詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照ください。

重要

2. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。
3. 全てのマスキングテープ、穴あけ位置決めステッカーを剥がす。
4. 全ての両面テープ接着面を３時間後に全て**再圧着**する。

アドバイス

- 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
- 商品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠警告

- 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
- 両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 取付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤバンパースポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

□ リヤバンパースポイラーの塗装

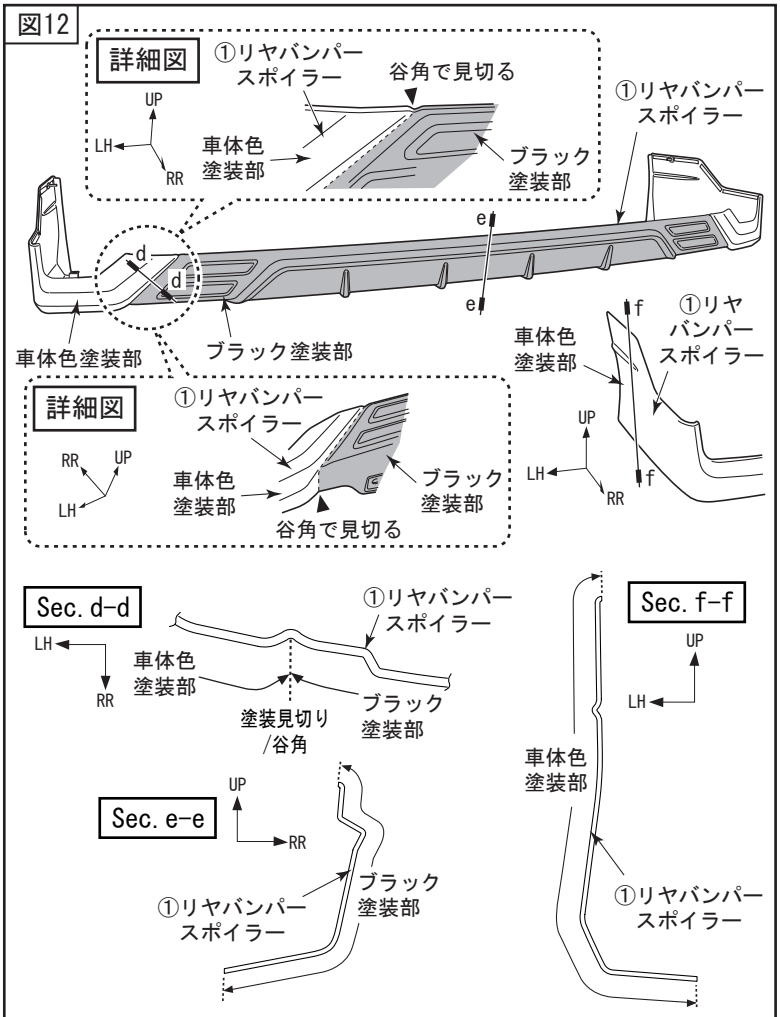
下記は、未塗装品(MS343-28002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

⚠ 注意

・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

図12



1. ①リヤバンパースポイラー裏側の両面テープ・スタッドボルト・ブラケット・アルミテープ・クッションを全面マスキングする。
2. ①リヤバンパースポイラーを車体色に塗装する。
3. ①リヤバンパースポイラーにマスキングしブラック色(アティチュードブラックマイカ〈218〉)を塗装する。

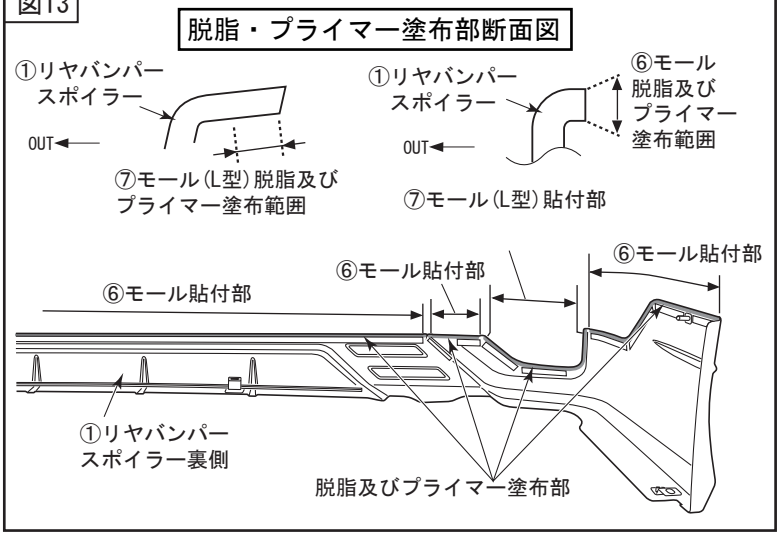
アドバイス

・車体色がアティチュードブラックマイカ〈218〉の場合、塗り分けはありません。

⚠ 注意

・脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
・両面テープは絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。
・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

図13

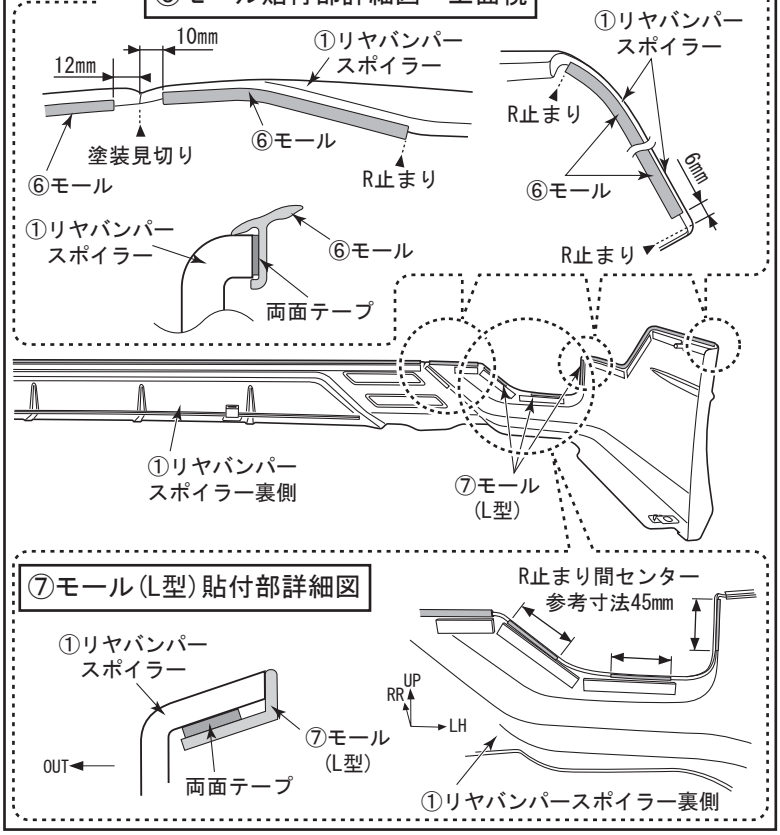


1. ⑥モール及び⑦モール(L型)貼付部を一方向に拭いて脱脂し、⑤パックプライマーを塗布する。

アドバイス

・脱脂後は、十分に乾燥させてください。
・PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
・PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにIPA等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図14



1. ①リヤバンパースポイラーに⑥モール及び⑦モール(L型)を左図の要領で貼り付ける。

アドバイス

・モールは長めに設定されているので長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

・⑥モールは、２色同梱されています。塗装色に合わせて選択し、貼り付けてください。

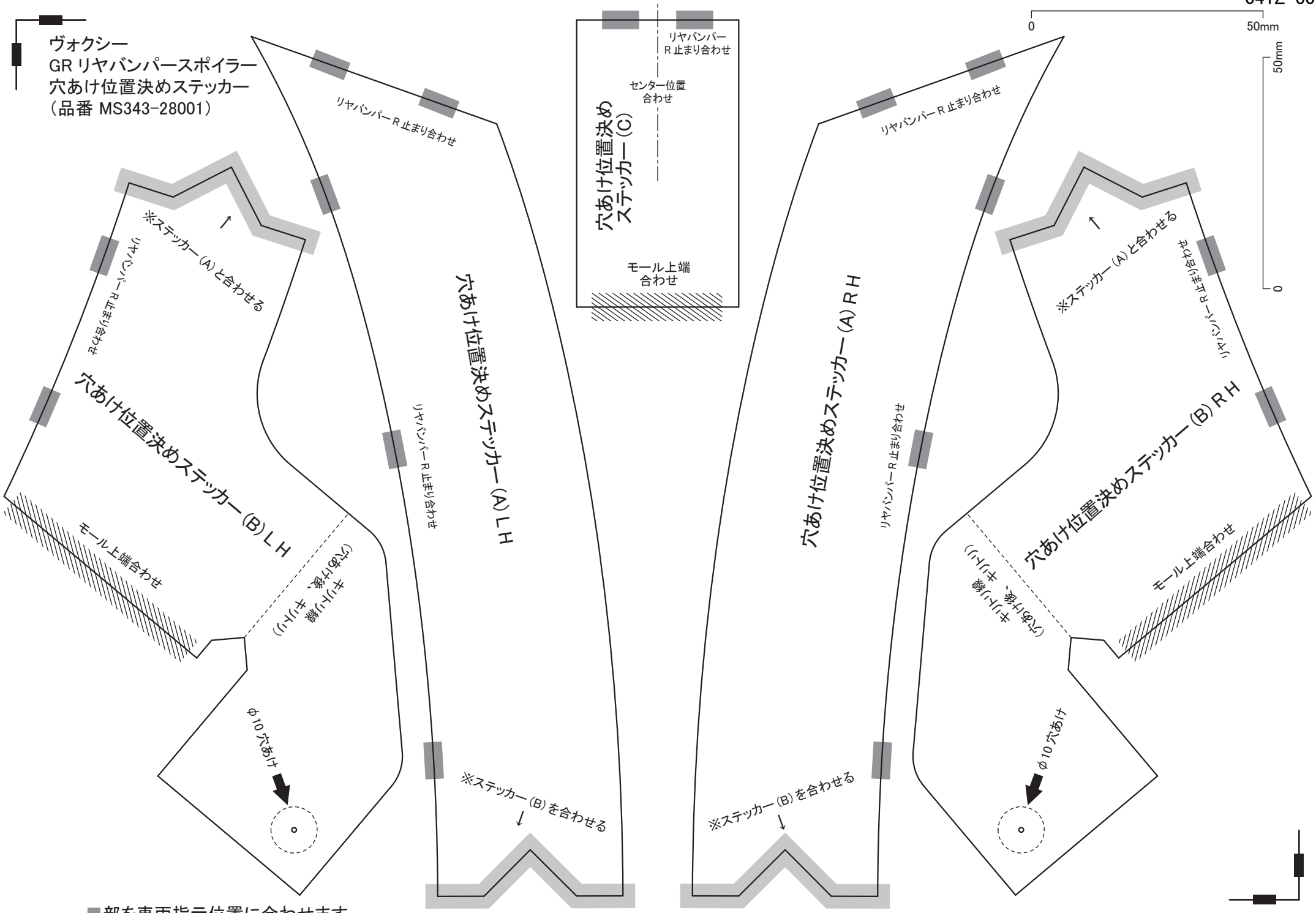
⚠注意

・両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

041Z-0075

ヴォクシー
GR リヤバンパースポイラー
穴あけ位置決めステッカー
（品番 MS343-28001）



■部を車両指示位置に合わせます。

脱脂作業要領書

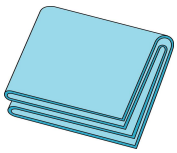
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

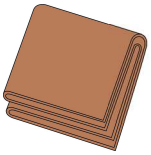
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

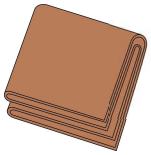
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

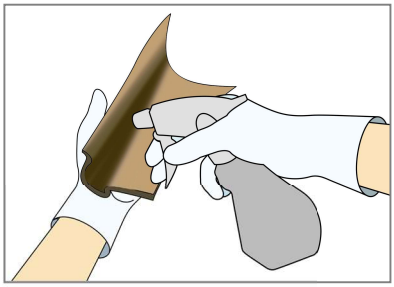
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。

WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

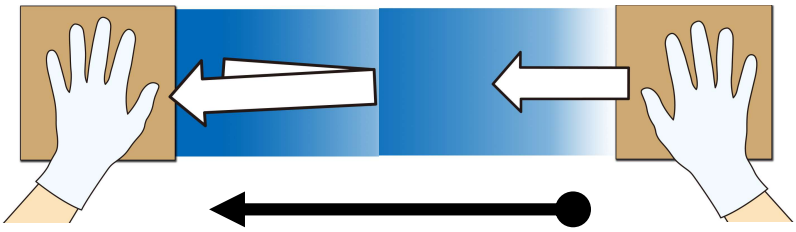


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

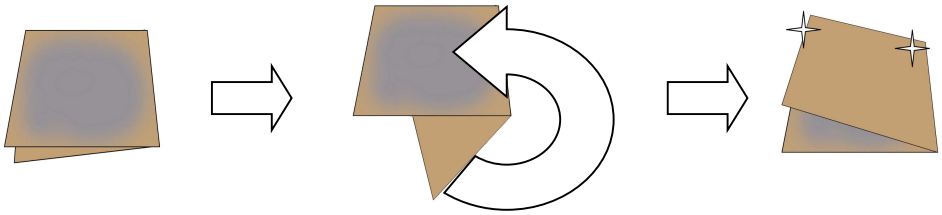
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。